

第2回奈良県地域福祉推進計画策定委員会 議事録

開催日時：令和3年12月13日（月）10時00分～

開催場所：ホテルリガーレ春日野 畝傍の間

出席委員（敬称略 50音順）

岡本 雄嗣、金田 喜弘、小西 満洲男、小林 照代、辻村 泰範、中 幸司、永田 祐、
中村 秀雄、橋本 侑子、宮本 美紀子、八木 三郎、横井 扶紗

1. 福祉医療部長挨拶

2. 議事

- (1) 第1回地域福祉推進計画策定委員会でのご意見・対応案について
- (2) 第4期奈良県地域福祉計画の施策体系について
- (3) 第4期奈良県地域福祉計画のアクションプログラムについて
・事務局から資料に基づき説明した後、各委員から、下記の意見等があった。

No.	項目	意見の概要
1	基本的な考え方	・排除されない社会や地域づくりのため、困りごとの解決に加え、福祉コミュニティをどのように地域でつくっていくかを表現できれば良い。
2	基本的な考え方	・計画の対象者は、奈良県民のことなのか、地域の企業や学生も含めているのか、幅広く捉える方が良い。
3	包括的な相談・支援体制の構築	・体制整備にあたって、県が市町村と一緒にって取り組む施策を具体的に示すべきではないか。
4	・包括的な相談・支援体制の構築 ・住民主体の課題解決に向けた取組の支援	・包括的な支援体制の整備にあたり、地域において必要な資源について話し合う場があることが望ましい。
5	包括的な相談・支援体制の構築	・CSWという文言が初めて登場する箇所に、説明が必要。

No.	項目	意見の概要
6	生活困窮者自立支援の充実	・生活困窮者自立支援について、「新型コロナウイルスの感染症の影響による生活困難者の実態調査」の結果など、ニーズを踏まえた課題の設定と施策が必要ではないか。
7	・経済的困難を抱える子どもの支援の充実	・こども食堂の取組については、経済的困窮等を抱えるこどもの支援だけではなく、地域における子育て支援の推進にも記載すべきではないか。
8	・住民等による見守り支える体制づくり	・こども食堂は、地域交流の場、世代間交流の場としても位置付けると良いのではないか。
9	権利擁護の推進	・市民後見人の育成や専門職への支援について記載する必要がある。
10		・日常生活自立支援は重要な取組であるため独立して記載することが望ましい。
11	更生支援の推進	・協力雇用主を増やすことが重要であるが、入札条件を緩めるだけではなく、もっと積極的な取組ができれば良いのではないか。
12	市町村地域福祉計画の策定支援	・市町村地域福祉計画の策定市町村数の目標値を全市町村としない理由は何か。全市町村でも良いのではないか。
13	生活支援サービス等の充実	・草刈りなど、住民同士の「助け合い」が生活支援サービスにつながると感じている。「生活支援サービス」をもう少し幅広く捉えてはどうか。
14		・「生活支援サービス」の記述が高齢者にフォーカスしている印象があるが、障害のある人、子育て中の人、妊婦等、幅広い分野に渡り記載すると良い。
15		・社会福祉士会において、障害者の地域生活支援委員会を始めたところ。計画の中でも、高齢者だけではなく障害のある人などのことも言及できると良い。
16		・高齢者分野における地域包括ケアでの事業を前提にしているが、本章で記載のある小地域福祉活動は高齢者だけでなく子育て世代を含めた取組となっており、タイトルに、分野を越えた「助け合い活動」を明記する必要があるのではないか。

No.	項目	意見の概要
17	元気高齢者の地域活動の推進	・元気高齢者の活動基盤として、老人クラブ活動のみならず、地縁にこだわらない幅広い地域貢献活動を活躍の場として位置づけてはどうか。
18	・元気高齢者の地域活動の推進 ・住民等による見守り支え合う体制づくり	・若い方に参加していただく取組と、地域の基本的なつながりづくりが重要。
19	防災に関する取組の推進	・地域福祉計画において防災に触れる意義として、互助や共助の取組が、災害にも強い地域づくりにつながると認識している。住民同士の支え合いの取組、行政や専門職との協働についても記載してはどうか。
20		・災害福祉支援ネットワーク(DWAT)について、チーム員の養成のみならず、実際の災害発生時に速やかに稼働していくための事務局体制の整備や訓練の強化・市町村への理解促進、目標を盛り込んでどうか。
21		・聴覚障害者にとって災害時の情報保障は課題であり、情報のバリアフリー化の記載が必要。
22	地域福祉を推進する人材の育成・組織づくり	・3-(1)の表題は「地域福祉を推進する人材の育成・組織づくり」であるが、人材の育成だけでなく、組織に該当する内容(人材が参画し、活躍できる仕組み等)がないため、記載してはどうか。
23	住民等による見守り支え合う体制づくり	・素案の項目名で、「3-(1)-③住民等による見守り支える体制づくり」と記載があるが、「支える」という文言は一方的な印象があり、見直してはどうか。
24		・小地域福祉活動における代表的な取組の1つが見守り活動であるため、2-(1)-①の記載を再掲してはどうか。
25	福祉教育の充実	・福祉教育の一環として、学校教育における福祉理解の促進のための啓発活動や多様なプログラムの開発、福祉教育の実践交流なども大きな役割を果たすと考えるので、記載してはどうか。
26	・福祉教育の充実 ・バリアフリーの推進	・バリアフリーに関しては、教育のあり方についても記載が必要ではないか。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・事務局から資料に基づき説明

(以上)